



すぎのこつうしん

平成29年度11月号
古川東町カトリック保育園

「ありがとうございます感謝の心を育みましょう」

朝夕めっきり涼しくなり、日の暮れも早くなってきました。

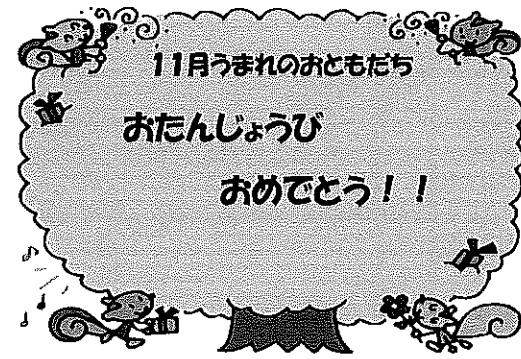
先月は雨降りが続き、加えて台風もあり、青空の下で遊ぶことがなかなか出来ませんでした。11月の天気に期待したいところです。そのような時でも子ども達は毎日元気よく遊んでいました。10月は職場体験や実習で中学生や看護学校の生徒さんが来てくれたり、川渡カトリック保育園の5歳児が来園して、一緒に遊び、とても楽しそうに遊んでいました。色々な人と関わりを持つことは良い経験になることだろうと思います。中学生や看護学校生は目一杯遊んでくれます。子どもたちにもみくちゅにされながら笑顔で関わってくれる学生さん達に感謝です。子ども達にも「遊んでくれてありがとう」という感謝の心を知らせていきたいと思ひます。

子どもも大人も何かをしてもらうのは当たり前、遊んでもらうのも当たり前と思ひがちですが、そうではありません。皆に支えられているから今の自分があるのです。そういう気持ちを持ちながら生活していれば他人の感謝の気持ちも自然と湧いてきます。感謝の心を持つ大人を見て育てば、豊かな心を持つ人になるのだと思ひます。感謝の心を忘れず、心豊かな人になりたいですね。

話は変わりますが、大崎地方の保育施設で大崎保育研究会という団体を作っておりますが、9月2日に子育て科学アックス代表で文教大学教育部教授、小児科のお医者様でもある成田奈緒子先生の研修を受講いたしました。脳育のためには生活リズムを整える大切さの事例をあげたり、科学的な根拠を交えながら話をして下さいました。その脳育を実践してきた先生の子育てエピソードが「8歳までの子どもの脳にやっぺいこと悪いこと」という巻面に載っておりましてので紹介いたします。先生の娘が小学5年生の時、合唱のピアノ伴奏者を選ぶ日にインフルエンザにかかり休んでしまったため、別の人が選ばれてしまい、悔しくて大泣きをしたそうです。その時先生は、これは脳育のチャンスとあえておとも言わず見守っていました。翌日の朝「自分の健康管理が悪くインフルエンザにかかってしまった。来年は頑張る。」と、すがすがしい顔で話したそうです。これを読んで我國のクリスマス祝会の聖劇での役決めはまさに子ども達の脳育のチャンスなのだと思ひました。なりたい役になれなかった子はそれぞれの心の中で葛藤を体験したんだからしょうがなしと諦めず、これが心の成長です。なりたい役になれた子は、しほしほ話した他の子たちの分も頑張ろうと頑張ります。それも心の成長です。

子ども同士の遊びや生活の中でいろいろな事で折り合いをつけることが出来るようになります。それが出来ないと、とても苦しい人生になります。大人は良い見本となり、子どもを温かく見守り、適切なアドバイスが出来ることが子どもの脳育に必要だと思ひます。

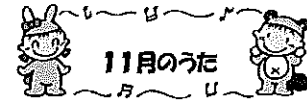
< 園長 平野綾子 >



11月うまれの子どもたち

おたんじょうび

おめでとう！！



11月のうた

「神様といつもいっしょ」

- ① かみさまと いつも いっしょ わたしたち みんな あさがきて よか あける
たいようの ぶれげんと ※ ありがとう かみさま あいさつ たくさんのおめくみを
ありがとう かみさま あいさつ わたしたちのため
- ② かみさまと いつも いっしょ わたしたち みんな こどりたち こえだから
おはようのごあいさつ ※ くいかわし
- ③ かみさまと いつも いっしょ わたしたち みんな おいしそう たべましよう
おしょくじの ぶれげんと ※ くいかわし

「やまのおんがくか」

- ① わたしゃ おんがくか やまのこいす じょうずに ぼいおん ひいてみましょう
きゅきゅきゅきゅきゅ きゅきゅきゅきゅきゅ きゅきゅきゅきゅきゅ
きゅきゅきゅきゅきゅ いかがです
- ② わたしゃ おんがくか やまのこいす じょうずに ぶるーと ぶいてみましよう
びびびびびびびびびびびびびびびびびびびびびびびびびびびびびびびびびびび
いかがです
- ③ わたしゃ おんがくか やまの ためき じょうずに たいこを たたいてみましよう
ぼこぼんぼんぼん ぼこぼんぼんぼん ぼこぼんぼんぼん ぼこぼんぼんぼん
いかがです



おとうさん・おかあさんから

1歳(ばんび組)の頃に体調を崩しやすく熱性痙攣を何度も起こし、入院したこともあったひなの。自分達を含め、保育園の先生方には心遣いとお迷惑をお掛けした時期もありました。しかし今では、日々の成長と共に体も強くなり、風邪もあまりひかなくなり、健康そのものに。毎日のお友達との出来事を楽しそうに話してくれます。カトリック保育園でお世話になるようになってから、〇〇〇だけではなく、私自身も行事等を通して成長させて頂きました。また、先生方の日々の大変さ、行事等の忙しさなどにも大変感謝しております。〇〇〇にとってはあと少ししかない保育園生活ですが、大好きなお友達とたくさん遊び、大切な思い出を一つでも多く作って欲しいと思ひます。

(ひつじ組 〇〇〇 〇〇〇ちゃんのおとうさん)

行事予定

1日(水) 交通安全教室	17日(金) 誕生会
8日(水) アップルパイ作り(5歳児)	21日(火) クッキー作り(4歳児)
9日(木) 破牙神ライザー龍来園	24日(金) 総合避難訓練
15日(水) 七五三の集い	



★ ぼんび組 (0歳児)

〈ねらい〉

- ・「ありがとう」という気持ちを動作や言葉で表す。
- ・伝い歩きや歩行等が盛んになり散歩や戸外遊びを楽しむ。

〈家庭連携〉

- ・感謝の気持ちを表す際、「ありがとう」と言ったり、頭を下げる動作を一緒に行いましょう。
- ・散歩や戸外で遊ぶ機会を持ち、体をたくさん動かすようにしましょう。

★ ひよこ組 (1歳児)

〈ねらい〉

- ・「ありがとう」の気持ちを言葉と動作で表す。
- ・寒さを感じジャンパー等で調節する。

〈家庭連携〉

- ・些細な出来事でも「ありがとう」と伝え合うことで感謝する場面が分かり、言葉や動作で表せるようにしましょう。
- ・ジャンパーのファスナーに興味を持ちはじめています。見守っていきましょう。また着やすいジャンパーを用意して下さい。

★ こい組 (2歳児)

〈ねらい〉

- ・保育士や友達に「ありがとう」と言葉で表す。
- ・保育士や友達とイメージを共有し、ごっこ遊びを楽しむ。

〈家庭連携〉

- ・簡単なお手伝いをしてもらった時など、お子さんの目を見て「ありがとう」と伝えましょう。
- ・保育園で遊んだこと、友達のことなど、お子さんの言葉に耳を傾け、会話を楽しみましょう。
- ・気温に応じて調節できるような衣服の用意をお願いします。また、薄着を心掛けましょう。

★ こねこ組 (3歳児)

〈ねらい〉

- ・いろいろな意みに気づき、感謝の気持ちを表現する。
- ・友達との関わりの中で我慢することを覚える。

〈家庭連携〉

- ・生活の中で様々な意みがあることを知らせ、「ありがとう」と感謝の気持ちを素直に伝えられるよう働きかけましょう。
- ・子どもの気持ちを受け止めた上で我慢すべき時もあることを知らせていきましょう。

★ うさぎ組 (4歳児)

〈ねらい〉

- ・様々な意みに対し「ありがとう」と感謝の気持ちを表す。

- ・整理整頓に興味を持つ。

〈家庭連携〉

- ・お子さんがしてくれたことでどんな小さいことでも嬉しく思った時に心からの「ありがとう」をたくさん伝えてあげましょう。
- ・家庭でも自分のものや使った玩具等きれいに片づけることを習慣付けていきましょう。

★ ひつじ組 (5歳児)

〈ねらい〉

- ・人・事象・自然等、様々な意み、行いに感謝し「ありがとう」と言えるようにする。
- ・難しいことなどにも最後まで頑張って取り組む。

〈家庭連携〉

- ・生活の中で自然の恵みや働いている人のことなどについて知らせていき、感謝する心を持てるようにしていきます。
- ・お子さんが頑張って何かに取り組んでいる姿を褒めたり、その時々のお子さんの様子や気持ちを受け止めて共感してあげましょう。

◆ 給食室 ◆

以上児クラスのお友達は食事の準備を手伝います。当番になった子がテーブルを拭いたり、箸を並べたり、食事を配ったり、いただきますの挨拶をいたします。配られた食事を受け取ると「ありがとう」と自然とお友達に言える子が増えてきました。毎日の習慣の賜物だと思います。家庭でも感謝の気持ちを伝えられるよう心掛けていきましょう。



「ありがとうという感謝の心を育みましょう」

以前、以上児の担任をしていた時に「ねー！○○君、ありがとうって言ってよー！」と「ありがとう」を言ってくれるまで友達を追いかけている姿が見られることがありました。「ありがとう」という気持ちは強制的に言わせるものではなく自然に伝えられるように知らせていかねばなりません。と感じました。「ありがとう？」「ありがとうしてね」と言ってしまったこともあったのではと反省させられました。その日から手本を見せたり、一緒に感謝の気持ちを伝えることで小さいクラスの子ども達でも頭を下げたり、「どうも」と伝えられるようになりました。家庭でも「ありがとう」と言われると暖かい気持ちになる素敵な言葉が自然に伝えられるよう知らせてみてください。

〈ひよこ組担任 木村 友香〉

おねがい

寒暖の差が激しく洋服の調節の難しい日が多くなりました。起毛やキルティングの服で日中は汗をかいってしまう子もいるので、戸外と室内の調節はジャンパーで行うようにしましょう。下着は半袖に袖がまくりやすいようにしましょう。

少しずつクリスマス祝会の練習があり、ご協力頂くようになります。宜しくお願ひします。



あなたの一分間拝借！



お恵みって 何でしょう

お恵みって 何でしょう

イエズス様から いただいた

マリア様に まもられた

みんなの丈夫な このからだ

みんなのきれいな この心

そうよ それがお恵みよ！

そうよ それがお恵みよ！

11月は 恵みに応える感謝の心を育み合う月 です！

人は誰でも自然の恵みによって生かされているだけでなく、両親をはじめ、兄弟姉妹、友人からも多くの支えを頂いて、生きている自分に気付き、感謝の気持ちをそれぞれの場で、それぞれの能力に応じて恵みを分かち合うよう招かれていることに目覚め、「感謝の心」で生きるよう努力いたしましょう。

恵みに応える姿勢、それは「ありがとう」と気持ちをこころとからだで表すことです。自分が健康に恵まれている時、この健康という恵みは家族や多くの人々の支えと神の慈しみ深い配慮によって与えられた賜物であり、ありがたいことだと心底思われなければならないと感じます。まさに「ありがとう」はDeo Gratias (デオ グラチアス)と言い、「神に感謝」という意味です。また、ポルトガル語ではObligado (オブリガード)と言い、直訳すると義務という意味合いがあり、「ありがとう」と言うことは、人間として感謝しなければ人の道に反することであるという奥深さを感じさせているようです。物質文明の豊かさのうちに、あたりまえのことを失っている私たちへの警告の言葉として受け止め自重自戒したいものです。

「ありがとう」という言葉は、神様や人様に対してだけに与える言葉ではありません。「もの」に対しても言う言葉でもあることに心の目を向けるべきだと思います。お年寄りの方が長い間使用して自分を暖めてくれた暖房器を所定のゴミ捨て場に捨てる時、「ありがとう」と言って、ご主人と共に一礼してさりげなく去って行く姿を見て感動した地の相異を感じずにはいられません。「ありがとう」という五つの言葉、勇気を持って家族ぐるみで言い合える家庭を目指して頑張りましょう！

ありがとう！それは、両親の膝の上から教育されるもの！

ありがとう！それは、その人の品格をあかしするもの！笑顔で明るく元気に！

ありがとう！それは、謙遜のしるし！あなたの救いへの道！

ありがとう！それは、新しい恵みの源泉！信仰の恵み、超自然の恵みに到る道！

ありがとう！それは、神と共に生きる世界への道に通じる力となるものです。

ありがとう！それは、神と共に生きる世界への道に通じる力！となるものです。

カトリック 古川教会

司祭 川井 啓

